

日本骨髄バンクの現状（平成 19 年 6 月末現在）

	5 月	6 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,743	2,435	283,066	357,135
患者登録者数	182	210	2,324	23,008
骨髄移植例数	81	89	-	8,456

20 歳未満のドナー登録者数
 6 月 193 人
 合計 5,577 人（17 年 3 月～）
 51 歳以上のドナー登録者数
 6 月新規 69 人
 延長 200 人
 合計 7,684 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 平成18年度の事業報告と決算報告が可決承認

6 月 27 日に開催された第 33 回通常理事会、評議員会において、平成 18 年度の事業報告と決算報告が原案どおり可決承認されました。

骨髄バンクを仲介した非血縁者骨髄移植件数は、平成 18 年度は過去最多となる 963 件（前年度 908 件、前年度比 55 件増）となり、累計移植数は平成 19 年 1 月に 8000 例に達しました。

財団は、骨髄移植を希望する患者さんに対して、安定的な骨髄液の仲介を行うという社会的使命を遂行するため、今後も日赤、行政機関、ボランティア団体等の関係者との連携を強化し、ドナー登録の推進、コーディネート期間の短縮、患者負担金の軽減、国際協力事業等、国民の負託に応えられる事業運営を行ってまいります。

詳細は当財団のホームページ(http://www.jmdp.or.jp/about_us/houjin/index.html)に掲載しておりますのでご参照願います。

2 「将来展望に関する検討会議」の進捗状況

昨年 10 月に設置された「将来展望に関する検討会議」では、骨髄バンク事業の将来のあるべき姿とその実現に向けて取り組むべき課題等について検討を行っており、本年 4 月には、中間答申として「ドナー登録者 30 万人達成後のドナープールのあり方について」を財団理事長へ提出しました。

現在は、コーディネート期間を重点に、ドナーコーディネートに関する諸問題の検討を行っています。さらにその後は、現在財団が行っている普及広報活動全般について、現状の問題点と今後の骨髄バンクとしての普及広報活動はどうあるべきかについて、検討を行っていく予定です。

3 国際協力の現状など

1) 国際協力の現状

		2007. 4 - 6				～ 2007. 6 末
		登録患者数	全抗原適合*	コーディネート数	移植数	累計移植数
海外ドナーから国内患者へ						
日本	NMDP(米国)	10	8	3	0	110
	BTCSCC(台湾)	10	4	4	0	25
	KMDP(韓国)	10	3	4	1	13
計						148
国内ドナーから海外患者へ						
日本	NMDP(米国)	19	11	16	0	10
	BTCSCC(台湾)	1	0	0	0	0
	KMDP(韓国)	81	42	41	2	127
	その他の国**	—	—	—	0	20
計						157

* 1 人でも適合したドナー候補者が見つかった患者の数。

** その他の国と地域は累計のみ掲載します。提供内訳は香港 6 件、英国 2 件、オランダ 1 件、オーストラリア 1 件、ブラジル 2 件、ドイツ 3 件、ベルギー 2 件、カナダ 1 件、シンガポール 1 件、フランス 1 件。

2) 骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数） 367 人

3) DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数） 220 件

4 患者負担金の軽減

このたび、検査会社のご協力により、7月9日(月)の検査受付日(=採血日)から、患者HLA検査料金が42,000円から31,500円へ10,500円引き下げられました。またオプション検査についてもHLA検査料(SBT法)が以下のとおり変更となりました。

	HLA検査料金(SBT法)	現行	変更後	差額
オプション検査	A・B・DR座(患者)	42,000円	31,500円	10,500円
	A・B・DR座(ドナー)	45,675円		14,175円
	A・B・C・DR座(患者)	59,850円	42,000円	17,850円
	A・B・C・DR座(ドナー)	61,425円		19,425円
	A座	16,800円	13,650円	3,150円
	B座	17,325円	13,650円	3,675円
	C座	17,850円	13,650円	4,200円
	DR座	18,375円	13,650円	4,725円

(D P座、D Q座については現行とおり16,800円)

この変更により、ドナー候補者4人の確認検査を実施し、移植を行った場合の患者負担金モデルケースでは、現行の259,000円から248,500円に引き下げられます。

また、骨髄提供者が平成17年3月以降に登録していた場合、本人確認のためのHLA検査費用9,450円 ドナー候補者の一般血液検査費用9,000円(一人につき)の一部である1,000円につきましては、引き続き財団で負担します。

さらに、経済的な理由で骨髄移植が困難な患者さんの負担を軽減するために、所得に応じて、患者負担金の全部または一部を免除しています。平成18年度については519人の患者さんに対し、総額で約7千6百万円の患者負担金を免除しました。

5 登録会実績と骨髄バンク支援イベント

6月の登録会実績 全国で行われた登録会は、日赤及びボランティア団体の協力のもと、献血併行型106回/登録者522名、集団登録会6回/登録者150名、健康診断会場3回/登録者8名が実施されました。

6月17日(日)、プロレスイベント「ハッスルエイド2007」の会場(さいたまスーパーアリーナ)で埼玉骨髄バンク推進連絡会及び千葉、茨城、宮城のボランティアの協力により、ドナー登録会が行われました。登録会は2時間半という短時間でしたが25名のドナー登録がありました。

骨髄バンク支援イベント 東西の球場でバンク支援のイベントが開催されます。

読売巨人軍では7月13日(金)~15日(日)、東京ドームで行われる3試合を「骨髄バンク支援・命のアサガオシリーズ(通称)」と銘打ち、元患者さんによる始球式や骨髄バンク支援が行われます。

7月29日(日)、阪神タイガースの本拠地甲子園球場において、元患者さんによる始球式やドナー登録をしている同球団の藤川投手のポストカードと骨髄バンクのリーフレットを配布する予定です。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開	7月20日(金)17:00~ 廣瀬第1ビル2階会議室
将来展望検討会議	公開	7月28日(土)13:00~ 廣瀬第1ビル2階会議室